

『東欧諸国における原子力ビジネス調査団』参加要項

1. テー マ:『東欧諸国における原子力ビジネス調査団』
2. 期 間:2013年10月13日(日)～10月20日(日) 8日間
3. 主 催:一般社団法人 日本技術者連盟(JEF)
4. 団 長:松井 一秋 氏 財団法人エネルギー総合工学研究所 研究顧問 主席研究員



■略歴

1969年 東京大学工学部原子力工学科卒業
1971年 東京大学大学院工学修士
1971年 呉羽化学工業株式会社入社
1975年 米国ペンシルバニア州立大学大学院
化学工学修士
1980年 エネルギー総合工学研究所入所
現在研究顧問兼主席研究員
国内では日本原子力学会元副会長,
国際的には第4世代国際フォーラムのメンバー,
OECD/NEA の原子力開発委員会委員長
米国原子力学会前理事

5. 趣 旨:

我が国の原子力発電技術は、福島事故の教訓を踏まえ、世界に冠たるもので、国際的にもその利用・展開が求められるところです。

安倍晋三首相は、本年6月、G8サミットへの出席に先立ちポーランドを訪問、ハンガリー、チェコ、スロバキアを含む東欧4カ国(ビシェグラード4=V4)の首脳と初会合に挑まれました。東欧諸国は一般に親日的ですが、長らくソ連圏にあり経済発展も遅れておりました。ここにきて西側とのギャップ解消に向けての飛躍を目指し、そのためにも旧式の発電設備の後進のみならず、原子力発電所の利用拡大を望んでいます。

4カ国は原発の建設を計画しており、首脳会談で原発建設に関する政府間協力を官民を含めた原子力連携および再生可能エネルギー分野での協力強化をうたいあげた共同声明を発表しました。

チェコはテメリン原発(南ボヘミア州)の3・4号機の建設を計画中であり、ポーランドとハンガリーにおいては、各2基の新增設が予定されています。

この様な折、あまり今まで日本となじみの薄い現地関係機関などを訪問し、わが国の原子力技術開発の相互交流とビジネスチャンスを中心に調査を行ないたいと思います。

関係各位のご参加をお願い致します。

①ÚJV Řež AS of the Czech Republic(Nuclear Research Institute Rez plc): チェコ

<http://trihybus.cz/o-nas>

関係者とのディスカッション

②テメリン原子力発電所 : チェコ

チェコにある原子力発電所の1つであり、南ボヘミア州テメリンに立地している。

2005年に入り当初計画されていた Temelin3・Temelin4の建設が再開されることになり、2010年に入札が開始、2013年に建設を開始する予定である。

発注先は東芝・ウェスティングハウス連合、アトムストロイエクスポルト、アレヴァの3つのグループを最終候補に決定している。

③在ポーランド日本国大使館表敬訪問: ワルシャワ

ポーランドにおける原子力ビジネスの動向に伝ディスカッション

④ポーランド国営電力会社 PGE (ジャルノビェツ原子力発電所): ポーランド

日立製作所とGE日立ニュークリア・エナジー(GEH)はポーランド初の原子力発電所建設の受注に向け、ワルシャワのエンジニアリング会社エネルゴ・プロジェクト・ワルシャワと覚書(MOU)を締結したと発表した。両社は計画のフェージビリティスタディー(実現可能性調査)について検討を進める。

ポーランド政府はエネルギー源を多様化するため、国内2カ所で総出力600万キロワットの原発を建設する計画を推進している。最初の原発は2016年に着工し、2020年に操業を開始する予定。

国営電力PGEは現在複数の原子炉技術の導入を検討しており、GEHは次世代型原子炉である単純化沸騰水型原子炉(ESBWR)と改良型沸騰水型軽水炉(ABWR)の2種類を提案している。

⑤The Academy of Sciences Centre for Energy Research (MTA EK) of Hungary:

ブダペスト

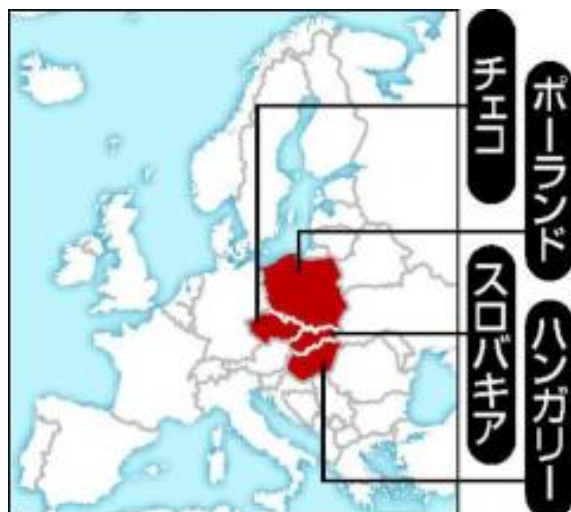
関係者とのディスカッション

⑥パクシュ原子力発電所 : ハンガリー

ハンガリーのトルナ県パクシュから5kmの位置に存在する原子力発電所。

ハンガリーで初めての、そして唯一の原子力発電所となっている。

4機の原子炉によって国内発電量の40%が生産されている。



7. 募集人員:15名 (最少催行人数10名)
8. 参加費:¥980,000- (消費税込)
9. 通訳者:ベテラン適任者
10. 添乗員:添乗員は全行程同行いたします。
11. ホテル:一人部屋
12. 旅行主催:万達旅運株式会社 ワンダートラベル
13. 総合事務局:株式会社アジア技術移転機構
14. 申込方法:添付申込書に必要事項記入の上、2013年9月13日(金)までに
FAX(03-6229-1940) 又は E-mail(info@jef-site.or.jp)にてお申込み下さい。
申込み受付後、旅行主催である万達旅運株式会社 ワンダートラベルより、
手続きに関するご連絡をさせていただきます。
15. 代金支払:総合事務局 株式会社アジア技術移転機構より請求書をご送付申し上げます。

一般社団法人日本技術者連盟

〒107-0052 東京都港区赤坂2-2-19 アドレスビル 5F

Tel: +81-3-6229-1946

FAX: +81-3-6229-1940

E-mail: idota@jef-site.or.jp

URL: <http://www.jef-site.or.jp>

URL: <http://www.jef-site.or.jp/npgef/index.html>

URL: <http://www.wkc21c.org>

東欧諸国における原子力ビジネス調査団

日 程 表 2013年10月13日(日)～10月20日(日) 8日間

※訪問先・発着時間・交通手段等は都合により変更する場合がございますので予めご了承下さい。

※飛行機はエコノミークラスを利用します。

日次	月・日・曜	都市名	交通機関	現地時間	スケジュール	食事
1	10/13 (日)	成田発 ワルシャワ着	航空機 航空機	午前 午後 夕刻 夜	ヨーロッパ内乗継にてワルシャワへ ワルシャワ泊	機内食
2	10/14 (月)	ワルシャワ滞在	専用車	午前 午後	在ポーランド日本国大使館表敬訪問 ポーランド国営電力会社PGE(ポーランド・エネルギー・グループ社) 本社でのMeeting	朝○ 昼○ 夕○
3	10/15 (火)	ワルシャワ滞在 ワルシャワ発 ブダペスト着	専用車 航空機	夕刻 夜	ポーランド国営電力会社PGE(ポーランド・エネルギー・グループ社)紹介のジャルノビェツ原子力発電所 訪問 (予定) 航空機ブダペストへ ブダペスト泊	朝○ 昼○ 夕○
4	10/16 (水)	ブダペスト滞在	専用車		The Academy of Sciences Centre for Energy Research (MTA EK) of Hungary 訪問 パクシュ原子力発電所(株式会社パクシュ発電所) 訪問 ブダペスト泊	朝○ 昼○ 夕○
5	10/17 (木)	ブダペスト発 プラハ着 プラハ滞在	航空機 専用車	午前 午後	航空機にてプラハへ ÚJV Řež AS of the Czech Republic (Nuclear Research Institute Rez plc) 訪問 プラハ泊	朝○ 昼○ 夕○
6	10/18 (金)	プラハ滞在	専用車		テメリン原子力発電所(チェコ電力(CEZ)) 訪問 プラハ泊	朝○ 昼○ 夕○
7	10/19 (土)	プラハ発	航空機	午前 午後 夕刻	乗り継ぎにて直行便にて帰国の途へ	朝○ 機内食
8	10/20 (日)	成田着	航空機	午前		

参加費に含まれるもの

- ・団体エコノミークラス航空運賃
- ・燃油特別付加運賃、空港税等
- ・ホテル宿泊費(シングルルーム、税・サービス料含む)、一部食事代(日程記載分(機内食含む)、飲み物代は別)
- ・運營業務費(プログラム企画・運営費、団長、添乗員同行費)
- ・訪問先関係費、報告書作成費など事前研修費(資料費、会場費、講師費等)
- ・現地陸上交通費(空港・ホテル・視察先への専用バス代、ガイド代、列車代、チップ代等)
- ・通訳料

参加費に含まれないもの

- ・渡航手続き諸費用(旅券取得費用、渡航手続き取扱い料金等)
- ・個人的経費(ホテルにおける電話代、クリーニング代、チップ等)
- ・集合時及び解散後の交通費
- ・超過手荷物料金(エコノミークラスは20kg以上)
- ・任意の海外旅行傷害保険
- ・障害・疾病に関する医療費

その他

- ・参加費は、2013年8月9日現在の運賃及び15名以上の参加に準拠したもので、ご出発前に参加人員に変更のあった時には、参加費用に変更される場合もありますので予めご了承下さい。
- ・尚、申込み後はキャンセルチャージが発生致しますのでご注意ください。

取り消し料金

- ◎旅行上の諸費用(航空運賃、ホテル宿泊費、現地地上交通費等)
 - ・実施日から起算し、さかのぼって30日前以降3日前まで :費用の20%
 - ・実施日から起算し、さかのぼって2日前以降1日前まで :費用の50%
 - ・実施日当日の取り消しは、全額申し受けます。
- ◎運營業務費、共通経費等は別途申し受けますので予めご了承下さい。

一般社団法人日本技術者連盟 役員構成

会長	星野 克美	一般社団法人 日本プライバシー認証機構 会長 多摩大学 名誉教授
顧問	岡村 總吾 斎藤 信男 唐津 一	東京電機大学 名誉学長 前国際大学 理事長 工学博士 慶應義塾大学 名誉教授 工学博士 東海大学 名誉教授
理事	井戸田 勲 梶原 豊 浮舟 邦彦 森 和義 佐藤 正文	特定非営利活動法人 日本プライバシーコンサルタント協会 専務理事 高千穂大学 名誉教授 経営学博士 学校法人 滋慶学園 総長 Ph.D. 有限会社森テクノマネジメント 代表取締役 技術士(電気・電子部門、経営工学部門)
監事	田代 空 寺村 康佑	社団法人 日・タイ経済協力協会 顧問 特定非営利活動法人 日本プライバシープロフェッショナル協会 会長 元財団法人 日本人事行政研究所 理事長 株式会社サイバープロ 取締役

一般社団法人日本技術者連盟 委員会 委員構成

『国際原子力発電技術移転機構』委員会

委員長	佐々木 宜彦	財団法人発電設備技術検査協会 理事長
顧問	野々内 隆 逢坂 國一 荒井 利治 宅間 正夫	財団法人経済産業調査会 理事長 社団法人日本電気技術者協会 会長 前社団法人日本原子力学会 シニアネットワーク 副会長 社団法人日本原子力学会 シニアネットワーク 会長
委員	池本 一郎 小川 順子 金氏 顯 河原 障 佐川 涉 関村 直人 津山 雅樹 富岡 義博 新田 隆司 藤井 靖彦 宮野 廣 諸葛 宗男	財団法人電力中央研究所 特別顧問 博士(エネルギー科学) 東京都市大学准教授/女性研究者支援室長 WIN-Japan 会長 社団法人日本原子力学会 シニアネットワーク 代表幹事 元社団法人日本原子力学会 会長 社団法人日本技術士会 理事 技術士 工学博士 東京大学大学院 工学系研究科 原子力国際専攻 教授 工学博士 社団法人日本電機工業会 原子力部長 電気事業連合会 原子力部長 日本原子力発電株式会社 前常務取締役 東京工業大学名誉教授 工学博士 特定非営利活動法人日本保全学会 特別顧問 法政大学 客員教授 東京大学公共政策大学院 特任教授

『アフリカ・中東技術者フォーラム』委員会

委員長	森 和義	一般社団法人 日本技術者連盟 理事 技術士(電気電子部門、経営工学部門)
委員	畑尾 成道 坂倉 省吾 島 直 佐藤 正文 小泉 英雄 鄭 紹良	技術士(建設部門、総合技術監理部門) 財団法人海外技術者研修協会 理事 工学博士 ICTコンサルタント・前GBDe消費者信頼委員会 筆頭シエルバ 前 財団法人 海外技術者研修協会 理事 社団法人 日・タイ経済協力協会 専務理事 技術士(電気電子部門) 台湾総統府 科学技術諮問委員会 委員 台湾総統府 顧問 国家実験研究院 ボードディレクター 無任所大使、工学博士・PE
海外委員	井戸田 勲	一般社団法人 日本技術者連盟 専務理事
アジア地区	AOTS各国同窓会メンバーよりご依頼中・順不同 Himpunan Alumni AOTS Indonesia Persatuan Alumni AOTS Malaysia AOTS Vietnam Alumni Society (AVAS) ABK & AOTS Alumni Association (Thailand)	
中東地区	Association of Iran's Japan Alumni (AIJA)	
アフリカ地区	AOTS Alumni Society, Cameroun (AOTSA-CAMEROUN) AOTS Alumni Society, Egypt AOTS Alumni Association - Ghana AOTS Alumni Society of Tanzania The AOTS Alumni Society of South Africa	

総合事務局 : 株式会社アジア技術移転機構 (Asia Technology Transfer Organization, Inc. (ATTO))

〒107-0052 東京都港区赤坂2-2-19 アドレスビル5F TEL : 03-6229-1950 URL : <http://www.atto-asia.jp>

お申込みは別紙に必要事項をご記入の上、事務局までFAX(03-6229-1940)又は郵送でお送り下さい。